音戸大橋

橋の概要

音戸大橋は、広島県呉市と広島県安芸郡音戸町を結んでおり、昭和 36 年に完成した支間長 172m のランガー橋です。航路高さを高くする（高さの高い船がはしの下を航行できるようにする）ため、高いところにけたが渡されています。このため、海面近くを通る道路からはしに上がっていくためのループ橋も建設されており、全国的にも一風変わった外観のはしです。たまたま休日だったこともあるのかもしれませんが、写真のようにはしの前後の渋滞が激しく、2004 年 5 月現在、東側には新たなはしの建設が計画されているようです。

撮影者からひとこと

音戸大橋は、2004 年 5 月 2 日にデジタルカメラで撮影しております。撮影当日は、ゴールデンウィークの行楽に向かう車で橋の上が大渋滞しておりました。写真撮影が数日早ければ、つつじは満開だったと思われますが、撮影時期が遅かったため、既につつじが枯れ始めていることが悔やまれます。また、昔、テレビアニメ、「サザエさん」のオープニングで、音戸大橋や尾道大橋をはじめとして、山陽地方の観光地の絵が写されていたことが思い出されます。

撮影者

大阪大学大学院 工学研究科

地球総合工学専攻 社会基盤工学部門

特任助手 三好 崇夫

〒565-0871

大阪府吹田市山田丘 2-1

大阪大学大学院工学研究科

地球総合工学専攻 S1 棟 628 号室

TEL：06-6879-7599

FAX：06-6879-7601

E-Mail：miyoshi@civil.eng.osaka-u.ac.jp